

ほいくえんももの家だいち

日時：2019年1月17日（木）13:15-17:15

2019年1月23日（水）9:30-16:00

場所：彦根市小泉町 395-7

JR 南彦根駅を降りて少し歩いての保育園。近隣はマンションや工場が広がり、近くには住宅が多くあり、市街地にある保育園で、近隣から多くの子どもたちが通います。今回は普段の保育でもよく利用する近くの児童公園の自然を活かしてプログラムを作成、実施しました。

（対象：5歳児 23名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

身近な公園で自然を見つけよう

自然は森や林だけでなく、ちょっとした場所にも存在します。道端や道路沿いに生えている木、ちょっとした隙間から生えている植物も自然の一部です。今回は身近でよく利用する公園で自然を発見するようなプログラムを行いました。

普段利用するからこそ見落としていたり、ちょっと視点を変えたら見えたりする自然が数多くあります。そんな公園で自然を感じました。



道脇にちょっとある自然の中から研修スタート。「こんなところにもいろいろあるんだな」親指で挟む草笛ですが、ちょっとした場所から自然の楽器が出てきました。

カメラとカメラマン。普段から慣れている公園でも、目を閉じているだけで新しい場所に来た感覚です。



鳥になって、探検しよう！

普段遊んでいる公園を鳥という視点から見ると、いろんな自然物があり、違いもあることに気づく。また公園に鳥がいることに気づき、自身だけじゃなく鳥も生きていることに気づくプログラムです。

木に触れ感触を確かめ好きな木を選ぶ。次にグラウンドで音を聞き、鳥が公園にいることに気づく。先に触った木を思い出しながら鳥になりきり、ご飯である木の実を集めたり移動することで、鳥はどんなふうにいるかを考えます。

色々な木を触りに行こう！
お気に入りの木が見つかる
かもしれない

公園の木の实を集めたよ。
鳥さんのために置いてお
こう。「食べてくれるか
な？」

公園にはどんな木があるかな？温かい？冷たい？つるつるしてる？ざらざらしてる？



みんなで並んで、公園を進もう！



妖精への贈り物

自然の妖精から手紙が届きます。手紙には暗号がかかれており、お友達と協力しながら自然物の違いや自然も人も共存して生きていることに気づくプログラムです。

自然の中で考えたり、探したりする楽しさや共に頑張ることから自然で遊ぶ楽しさを知り、公園を大切な場所に思えるように声掛けをしていきます。

最後はみんなで妖精に自然物を届けました。

妖精から手紙が届いたよ。なんて書いてあるのかな？



これは、何の自然物を表しているんだろう？この公園にあるのかな？



「葉っぱかなあ」「枝もあったよ」「木の枝もあるよ」公園の中で色々な自然を見つけたよ



「木の实や葉っぱを妖精さんに返そう！」グラウンドでバルーンをいっぱいひろげて

プログラムを終えてのふりかえりから

- 身近な視点で触ったり、見たり、なりきったりして遊ぶことが出来るんだな。
- 自身が今まで外遊びできていなかったが、一步踏み込んでやってみようと思った。
- 自然を使って命の尊さを伝えと、子供たちには伝わりやすいのかなと思った。
- 持ち帰る遊びはしていたが、自然に戻す遊びはしてこなかったと思った。
- 日頃公園には行くが、触ったり、においを感じたりする遊びはしなかった。
- 今回の研修で得たことを園で試し、子どもの意見を大切にしながらやっていきたい。
- フィールドワークで思ったより自然は多くあるなと感じた。また学べることも多いなと感じた。
- 子どもの様子から、気づかされることが多くあった。
- 今回の遊びのようなものが子どものイメージにつながっていくのではないかなと思った。
- 園児がすごく楽しんでいて良かった。